



こめのやま

2022年1月1日

No.106

発行責任者/内田 雅仁



明けましておめでとうございます



新年のご挨拶

新年明けましておめでとうございます。

昨年から引き続き、コロナ禍の中ではありますが、皆さま方にとりましては、今年も明るく幸せな良き年をお迎えのことと存じます。今年、壬寅（みずのえとら）年であります。「壬」は「妊」に通じ、陽気を下に妊（はら）む、「寅」は「蟻（ミミズ）」に通じ、春の草木が生ずる」という意味があるそうです。そのため「壬寅」は厳しい冬を越えて、芽吹き始め、新しい成長の礎となる年です。コロナ禍を吹き飛ばし、新しい成長の礎となる年とし、今年も、皆さま方、益々、ご活躍されることを、心よりお祈り申し上げます。

さて、昨年は、念願のオリンピック・パラリンピックではありましたが、引き換えに史上最悪のコロナ第5波も経験致しました。オミクロン株の出現で、今後、第6波のアウトブレイクが懸念される所ですが、万全な感染対策を継続し、感染を可能な限り抑え込みましょう。

米の山病院は、今年で新築7年目を迎えようとしています。引き続き、米の山病院は、「いちばん高齢者に優しい病院」になろうと努力していかうと思っております。皆さま方の、大きな支援を力に、頑張っていきますので、今年もよろしくご協力・ご指導の程、お願い申し上げます。

病院長 崎山博司

社会医療法人 親仁会

米の山病院



日本医療機能評価機構認定病院
臨床研修指定病院

新しいMRI装置に 更新しました

米の山病院では、2021年10月25日より新しいMRI装置に更新しました。最新型のデジタル機構を搭載しており、より高精細で高画質な画像、広範囲の撮像が可能です。

「圧縮センシング」という新しい技術を搭載し、従来の最大50%の短時間化が可能になります。今までは、40分程かかっていた検査が20～30分程で検査できるようになりました。

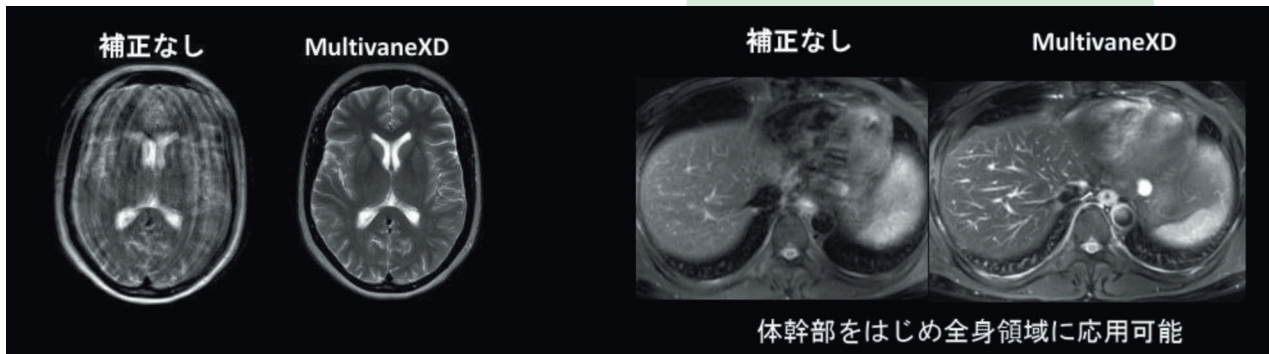


innovation + you

PHILIPS

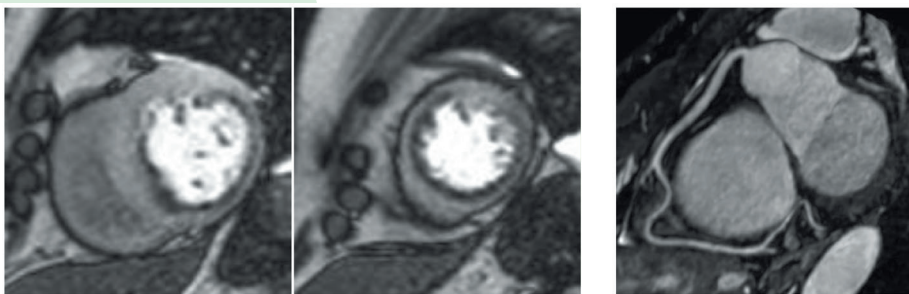
■高精度体動補正技術 MultiVaneXD

高精度な体動補正技術により動きが止められない患者様でも、その動きに対応した撮像が可能となりました。体動補正技術は、全身領域に対応しています。



■新しい撮像技術 心臓MRI

今までは、検査できなかった心臓についてもMRIで撮像できるようになりました。心臓MRIは心臓の形態、壁運動、血流、線維化、冠動脈評価など、心疾患を多角的に評価・診断できる検査です。造影剤を使用しなくても冠動脈の評価が可能です。



■CTと類似した骨画像 FRACTURE

FRACTUREという撮像によりCTのような画像を取得することもできます。この技術により骨組織や石灰化、軟骨や靭帯、腱など、整形領域に必要なとされる解剖構造を高精細に描出することができます。



CT

MRI

この機器の機能を最大限に活かして、医師、放射線技師をはじめ当院スタッフと協力し、地域の方々へ質の高い画像診断・治療が提供できるよう努めていきたいと思っております。

放射線科 中原 真央

親仁会 学術・運動交流集會を開催

親仁会では、2年に1度、法人内の事業所の医療・介護活動の交流を図る場として、学術・運動交流集會（以下、学運交）を開催しています。今年度は、コロナ禍の状況を踏まえ、初のオンライン（WEB）で開催しました。

全体企画では、矢野香織実行委員長（みさき病院副院長）より開会挨拶をいただき、記念講演では、斎藤幸平氏（大阪市立大学准教授）より「人新世とポストコロナの社会」と題して、資本主義下での人類の経済活動が格差社会や気候変動危機の要因になっていることなどを学び、職員一人ひとりが今とこれからの中について考える良い機会となりました。各事業所の活動内容を発表（共有）する分科会は、WEB上で動画を視聴する形式で開催しましたが、



記念講演講師：斎藤幸平氏

コロナ禍でも様々な取り組みを行い、互いに奮闘している仲間がいることを再認識できました。今後今回のお学運交を教訓に患者・利用者様のために、より良い医療・介護が提供できるよう努めていきます。

米の山病院 医局事務課

（学術・運動交流集會事務局）

下川 勇樹



2021年度 社会医療法人 親仁会

学術・運動交流集會

全体企画 開会式・記念講演
2021年11月21日(日) 9:00～11:20
オンライン開催(LIVE配信)

分科会
2021年11月22日(月)～12月29日(水)
オンライン開催(オンデマンド配信)

メインテーマ
1.「医療・介護活動の2つの柱」を深化させ、
コロナ禍だからこそ私たちにできることを考えよう
2.各事業所での取り組みを共有し、互いに支え合い、
励まし合い、コロナを乗り越えよう

記念講演 講師
斎藤 幸平氏 (さいとう こうへい)
「人新世とポストコロナの社会」

研修医ニュース



左より本田優祐先生、佐藤佑紀先生、佐々木はるか先生、我有哲郎先生、林智也先生

新年あけましておめでとうございます。昨年は、新型コロナウイルス感染症が蔓延し大変な中、診療の現場で研修医をサポートして頂きありがとうございました。班会や子ども食堂の中止もあり、なかなか地域の皆さんとお会いして交流する機会がなく、研修医一同寂しく感じました。今年度は、友の会員の皆様に直接お会いし、地域の健康増進に少しでも寄与できればと思います。今年もよろしくお願ひします。

医局事務課 井島 輝



～焼き葱入りで風邪予防! 温まる美味しい1杯～ 里芋とひき肉の豚汁

材 料 <2～3人分>

- ・豚挽き肉……………100g
- ・里芋 6～8個……………300g
- ・長ネギ……………1本
- ・味噌……………大さじ2.5～3
- ・水……………A 100cc
……………B 500cc
- ・ねり辛子……………適宜



栄養科 調理師
坂口 良太

下準備

里芋は皮を剥き1cmの輪切り、長ネギは4cm程のぶつ切りにする。豚挽き肉は加熱した際、ダマにならないようA100ccの水で溶いておく。

長ネギは中火の熱したフライパンで焦げめをつけておく。

作り方

- ①里芋を下茹でする。鍋に里芋を入れ、ひたひたの水を注いで、中火にかける。沸いて白い泡が出てきたらザルに上げ、軽く水で洗う。
- ②鍋に①の里芋、焼いたネギ、B500ccの水を入れて煮立て、挽肉を加える。
- ③沸いたらアクをとり、弱火にして大さじ1の味噌を加える。蓋をして里芋がやわらかくなるまで10分程煮る。
- ④残りの味噌を溶き入れ、再び煮立ったら火を止め、器によそう。お好みでねり辛子を添える。

ワンポイントアドバイス

・里芋は十分やわらかくなるまで弱火で火を通し、先入れの味噌で味を馴染ませ、香ばしい焼きネギの香りでおいしさを引き立てます。



クイズ 頭の体操

問題

み き く け こ
これはなんでしょう??

ヒント いろいろうつす 便利な道具

No.105 (9月1日号)の答は **5円** でした。

ご応募ありがとうございました。

当選者は商品の発送をもって代えさせていただきます。

応募のしかた

答えを紙(ハガキ)に書いて、送っていただくか受付までお持ち下さい。FAXでも可。〆切は2022年2月10日。

機関紙や米の山病院についてのご感想、ご意見などもお寄せ下さい。

読者の声

- ☆「よかもん商店街」は良い取り組みですね。不自由な方への出前は今後もして欲しいです。
- ☆コロナ禍における介護予防は大変為になります。特に、筋肉量の損失はそんなにもあるのかと驚きました。早くコロナが収まって、自由に動けるようになりたいです。
- ☆フライパンで簡単スペアリブがとても美味しそうでした。作ってみたいです。



皆様からのお便りありがとうございました。

休日当番医のお知らせ

(9:00～18:00)

2月27日

携帯ページはこちらから



アクセスは <http://www.kome-net.or.jp/m/>
または QRコードからどうぞ